

会計	10	一般会計
款	8	土木費
項	2	道路橋りょう費
目	3	道路新設改良費

所管課	管理課
事業名	生活関連道整備事業
補助単独の別	補助

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長 ④(増減額)	市長査定・最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ⑥-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費	102,816	92,451		78,724			78,724	▲ 24,092
財源内訳	国	8,000	27,000	17,000	8,000		25,000	17,000
	県							
	市債	54,900		45,200	▲ 17,500		27,700	▲ 27,200
	その他							
	一般財源	39,916	65,451		16,524	9,500		26,024

事業概要	道路の新設や排水路改修及び舗装等の道路整備を行う。	今年度見直し事項	
事業目的	市民生活に最も身近な社会基盤である道路を整備し、市民生活環境の向上を図る。		
現状と背景	近年、道路の老朽化や宅地化に伴う側溝断面不足による改修工事及び自治会等からの舗装・道路側溝の要望箇所が増加傾向にある。事業の必要性、緊急性を考慮しながら実施する。	その他	

会計	10	一般会計
款	8	土木費
項	2	道路橋りょう費
目	3	道路新設改良費

所管課	下水道課
事業名	下水道整備附帯事業
補助単独の別	単独

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長 ④(増減額)	市長査定・最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ⑥-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費	1,000	1,000		1,000			1,000	
財源内訳	国							
	県							
	市債							
	その他							
	一般財源	1,000	1,000		1,000			1,000

事業概要	<p>下水道の整備に伴う工事で、老朽化した側溝等の改修工事やそれに伴う道路等の復旧経費を予算化している。 ※污水管等を埋設する際に、側溝(水路)等が支障となり、整備の必要のあるものについては下水道会計で負担している。</p>	今年度見直し事項	
事業目的	<p>下水道の整備に伴い、老朽化した側溝などの改修工事などを行うことにより、雨水を排除し、道路の冠水や建物の浸水を防ぐ。</p>		
現状と背景	<p>下水道整備済み区域が拡大したことにより側溝などの機能は改善されてきている。しかし、下水道の普及率は平成26年度末で66.0%であり、老朽化した側溝等が市内には多く残っているため、早期の整備が望まれている。</p>	その他	

会計	10	一般会計
款	8	土木費
項	2	道路橋りょう費
目	3	道路新設改良費

所管課	管理課
事業名	中海護岸整備関連事業
補助単独の別	補助

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長 ④(増減額)	市長査定・最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ⑥-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費	130,766	117,699		117,369		▲ 1,000	116,369	▲ 14,397
財源内訳	国	68,750	63,250	63,250	▲ 81		63,169	▲ 5,581
	県							
	市債	50,600		46,500			46,500	▲ 4,100
	その他							
	一般財源	11,416	54,449		7,619	81	▲ 1,000	6,700

事業概要	国土交通省が進める斐伊川水系治水事業に伴う中海護岸整備事業において、渡漁港周辺の市道新設・改良事業、及び内水排除施設整備事業を実施する。	今年度見直し事項
事業目的	渡漁港の背後にある住宅地域の地盤高は、中海の計画高水位より低く、これまで高潮の被害に見舞われてきた。今回、斐伊川治水事業として護岸整備がなされることで、外水(高潮)からの被害は防止できるが、同時に発生する課題として内水排除対策がある。本事業の目的は、この内水排除のための水路整備と、この地域は住居が密集していながら防災避難道路や防災広場が近隣に不足していることから、これらを総合的に整備する。	
現状と背景	これまでこの地域では、高潮が発生する度に水位上昇と内水排除不全のために浸水被害の危険にさらされて来た。その度に仮設ポンプを設置し24時間の排水処理を余儀なくされ、職員も昼夜対応に追われてきた。今回、総合的な防災対策事業を実施することにより、常に安定した防災対応が可能となる。	その他

会計	10	一般会計
款	8	土木費
項	2	道路橋りょう費
目	3	道路新設改良費

所管課	管理課
事業名	内浜地区内水対策事業
補助単独の別	

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長 ④(増減額)	市長査定・最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ⑥-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費	70,754	103,270		68,270			68,270	▲ 2,484
財源内訳	国	34,570	57,000	67,000	▲ 8,000		59,000	24,430
	県							
	市債	7,500						▲ 7,500
	その他							
	一般財源	28,684	46,270		1,270	8,000		9,270

事業概要	外江地区と西工業団地を中心に、内水対策整備を行う。 財源は、特定防衛施設周辺整備調整交付金を活用する。	今年度 見直し 事項
事業目的	外江地区は特に老朽化した雨水側溝の面整備を行い、西工業団地は排水系統の見直しに伴い新たな計画に合わせた整備を行う。	
現状と背景	外江地区は、側溝の老朽化が顕著であり、排水不良による道路の冠水や側溝の損傷が多数存在している。また、海岸周辺においては、高潮時に外水の影響を受けることから、そのことも含めた対策が必要である。 西工業団地の貯木場は、平成22年度に示された斐伊川河川整備計画の短期整備箇所位置付けられており、平成28年度から護岸整備が行われ締め切られることから、現在の排水系統の見直す必要が生じたものである。	その他

会計	10	一般会計
款	8	土木費
項	2	道路橋りょう費
目	3	道路新設改良費

所管課	管理課
事業名	水木しげるロードリニューアル事業
補助単独の別	

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長 ④(増減額)	市長査定・最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ⑥-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費	44,301	124,350		124,193		▲ 2,962	121,231	76,930
財源内訳	国	14,600	48,000	48,000			48,000	33,400
	県							
	市債	18,000		64,800			64,800	46,800
	その他	11,701						▲ 11,701
	一般財源		76,350		11,393		▲ 2,962	8,431

事業概要	水木しげるロードにおいて、車道の一方通行化による道路空間の再配分を中心とした改修を行う。	今年度見直し事項
事業目的	水木しげるロードを「すべての人にやさしい道」、「誰もが楽しめる道」として、訪れる方々がより快適・安全・楽しく過ごせる道路空間へとリニューアルすることにより、将来にわたり賑わいを継続させ、持続的な地域発展を図る。	
現状と背景	水木しげるロードは、平成5年のオープン以来順調に来訪者数が増加し、全国的な観光地として定着したところであるが、平成22年をピークに減少傾向に転じている。また、当初整備された道路は、車優先の対面通行で整備され、拡幅された歩道の幅員も区間を通じて同一ではなく、多くの来訪者を迎える道としては、一部の歩道の狭さやバリアフリー対応などの問題が生じている。これらの現状を踏まえ、平成25年度より本事業に着手したところである。 (経過・予定)平成25年度:リニューアル基本構想策定、平成26年度:基本設計、平成27年度:詳細設計、平成28年度:工事着工	その他

会計	10	一般会計
款	8	土木費
項	2	道路橋りょう費
目	3	道路新設改良費

所管課	管理課
事業名	水木しげるロード街なみ環境整備事業
補助単独の別	協議会活動助成(国1/2)、整備方針策定(国1/2)、街なみ整備事業(国1/2)、事業計

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長 ④(増減額)	市長査定・最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ⑥-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費		5,600				4,619	4,619	4,619
財源内訳	国	2,800				2,309	2,309	2,309
	県							
	市債							
	その他							
	一般財源		2,800				2,310	2,310

事業概要	国土交通省の街なみ環境整備事業を活用し、沿道の店舗等における地元が主体となった景観形成に対しての支援を行う。	今年度見直し事項	
事業目的	ロードのリニューアルにより、将来にわたり持続的な観光地として賑わいを継続していくためには、公共の行う道路改修のみに終わらず、地元と一体となった沿道の魅力の向上を図ることが必要不可欠である。この事業をきっかけとして、商店街組織等の更なる活性化を図り、子や孫の代までを視野に入れた、より自立性の高い持続的なまちづくりを目指す。		
現状と背景	沿道についても、道路の基本設計と並行して、関係者で構成する沿道部会で議論を行ってきた結果、昭和レトロや水木作品に出てくる建物及び背景などを参考に沿道整備のルールを作り統一した街なみを目指すことが必要であるとの結論に至った。これを受け水木しげるロードの沿道にある地元商店街等において街なみ環境整備事業の活用を想定した整備についてのルール作りなどの話し合いが開始されている。	その他	平成25年度 基本構想策定 平成26年度 基本計画、基本設計 平成27年度 実施設計、社会実験 平成28年度 工事着工 平成30年度 工事完成